

(博士前期課程) ロボティクス&デザイン工学研究科【ロボティクスコース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

ロボットとは、人類がその時代に思い描く理想の人工物である。本コースは、それらの創造を支えるロボティクスの新しい学問体系を築く。これは機械・電気・電子・計測・制御・情報の学理と実践を統合する知的活動であるが、常識を疑い、学問体系の再構築も厭わず、未来社会の在るべき姿を構想し、その実現に貢献する研究開発者・専門技術者を育成する。

<求める人物像>

- 本専攻および、本コースの教育目標を理解し、その達成に向けて努力できる人物
- 新たな理論、理論に裏打ちされる技術、技術を応用した機器やサービスを創出する意欲を持った人物
- コミュニケーションの重要性を認識し、生涯にわたって向上心を維持し、いかなる場面でも責任ある行動をとれる人物

入学前に学修しておくことが期待される内容

本コースでは巨人の肩の上に乗る、人類がその時代ごとに思い描く理想の人工物たるロボットのなんたるかを探求し、その実体を創生するための理論を探究し、その多寡はともかくもロボティクスの学問体系の再構築に寄与することが求められる。

その実現のためには特に、数学、物理学を基礎とする機械工学、電気電子工学、計測制御工学、情報工学を融合したロボティクスの基礎的な学理について、その理論と実践の行き来を繰り返して学修した経験を期待する。しかし「特に」というのは当代においてであって、そこすら批判的に考えるべきである。

これらの知的活動を支える姿勢として、困難性に立ち向かう度胸、失敗してもくじけない復元力、自ら問いをたて渦中に飛び込む自発性、最後までやり抜く執念、短期・中長期の研究計画の立案と遂行を期待する。

学内進学者入試

面接試問では、上述の姿勢を問う。なお、英語力を中心とする語学力を持続・発展させるために、本入試合格内定後も継続して TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テスト受験を習慣づけてほしい。

一般入試

学科試験では数学、制御工学、材料力学、機械力学、電気回路の知識を問う試験を行う。面接試問では、前述の姿勢を問う。また英語については TOEIC の成績を評価するので公式スコアの提出を必須とする。

社会人入試

面接試問では、前述の姿勢を問う。書類審査では、大学院での科目履修と研究活動に必要な知識を学んでいるかを審査する。

外国人留学生入試

英語を十分学修すること。またロボット工学の基礎を理解し論述するに十分な日本語能力を修得すること。